

競技上の注意事項

1. 大会は2022年度（公財）日本バレーボール協会6人制競技規則および2022年度（公財）日本中体連バレーボール競技部における6人制ルールの取り扱いに則って実施する。但し、ネットの高さは男子2m30cm、女子2m15cmとする。
2. 試合は全て3セットマッチとする。また、**1日目の予選リーグのみ3セット目を15点制とする。**
3. 競技日程は、1日目の午前に女子予選リーグ戦、午後に男子予選リーグ戦を行う。2日目は決勝トーナメント戦（5位決定戦を含む）とする。
4. 開会式および閉会式は行わない。表彰についてはコート表彰を行う。
5. 全試合のラインジャッジ4名と点示係2名は、出場チームが担当する。（1日目は同リーグの空きチーム、2日目の第1試合は第2試合の両チーム、第2試合以降は前試合の負けチームが担当する。）
6. 全試合5分間の合同練習のあと、プロトコールに入る。

【1日目 予選リーグ戦】

2試合目、3試合目は連続試合になるため、10分間の休憩の後、5分間の合同練習を行う。（1日目の休憩時間は、前試合がフルセットであっても10分間とする。）

※1日目に限り、10分間の休憩時間は、役員の消毒やコートチェックの後、審判から指示が出ればボールを使用しての練習を許可する。ただし、ネットは使わずに、ボールが隣のコートに飛び散らない程度とする。ボールの使用許可については放送にて連絡する。

【2日目 決勝トーナメント戦】

試合が連続するとき、前試合が2セットの場合は最大10分間、3セットの場合は最大15分間の休憩のあと、合同練習に入る。なお、休憩の時はボールの使用を禁止する。

第2試合終了後、男女それぞれ30分間の休憩をとる。第3試合の合同練習開始時刻については放送にて連絡する。

【両日共通】

合同練習は、ネットを使用せずにボールが隣のコートに飛び散らない程度とする。但し、第1試合までのウォーミングアップと合同練習は、ネットの使用を許可する。

7. チーム構成は、監督・コーチ・マネージャー各1名。選手12名以内とする。校長または教頭が部長としてベンチに入ることができる。上記以外の者のベンチ入り、および公式練習の参加を禁止する。
8. プログラムに掲載された部長・監督・コーチ・マネージャー・選手の変更の有無にかかわらず、エントリー変更用紙に責任者が記入の上、1日目、女子8時30分までに、男子は14時00分までに本部席の競技委員まで届けること。提出時に変更があったもののみ認めるが、提出以降の変更は一切受け付けない。また、背番号の変更や誤字の訂正についても同様とする。
9. スタッフは、規定のマークを左胸部に付けること。ただし、部長は本部で準備するIDカードを付ける。（外部コーチはIDカードも付ける。）
10. 試合会場の開館は1日目8時00分、2日目8時45分とする。開館後は抽選結果が3、6、9、12のチームから優先的に受付を行う。また、ウォーミングアップ開始まではボールの使用を禁止する。
11. ユニフォームは日本中体連バレーボール競技部の規定に準ずる。

12. 予選リーグの順位は次の方法により決定する。
 - ①勝ち点（勝ち2点、負け1点、棄権または没収0点）の高いチームを上位とする。
 - ②勝ち点が同じになった場合は、セット率（総得セット数÷総失セット数）の高いチームを上位とする。
 - ③セット率が同じになった場合は、得点率（総得点数÷総失点数）の高いチームを上位とする。
 - ④得点率も同じになった場合は、2チームの場合は相互の勝ちチームが上位となり、3チームの場合は抽選により順位を決定する。
13. 決勝トーナメントの抽選会は、予選リーグの全試合（男女別）終了後に実施する。抽選会は監督と主将が出席すること。
14. WTO を全試合で採用する。（1日目の3セット目は8点で行う。）
15. ベンチに入る者は言動や服装等について、中学生の試合としてふさわしいマナーを守り、スタッフの服装は統一すること。（ハーフパンツ・短パンは不可とする。）ただし、マネージャーが生徒の場合はその限りではない。また、鳴り物・メガホン等のベンチへの持ち込みを禁止する。**（熱中症対策としてうちわの持ち込みは許可するが、セット間、タイムアウト、WTO 以外での使用を禁止する。）**
16. ベンチおよびウォームアップエリアの選手については、マスクを着用すること。但し、リベロおよびリベロと交代する選手はその限りではない。
17. 観覧席については試合進行の妨げにならないよう、フラッシュ撮影、およびホイッスルが聞こえなくなるような鳴り物、電子機器の使用を禁止する。